

# MESSAGE FROM GRADUATES

尊重と感謝がミライへとつながる



01



「自分らしく楽しい  
高校生活を！」

中嶋 建二 (31 回生)

白雲まこと (シェフ)

私は中学生の頃からの夢を叶えて、和食料理人をしています。地元の食材を美味しく食べてもらいたいという目標を掲げ、日々レベルアップに努めています。高校時代の先生方がお店に来てくださることもあり、社会人として自身でお店を始めてから先生の思いやりに気づくことが多いです。

学校生活では部活動に打ち込みました。吹奏楽部で、和気あいあいとして楽しかった思い出があります。担任の先生にはとても良くしていただきました。どの先生方も厳しい中にも優しさがありました。また、精神統一をする坐禅の時間は貴重な経験でした。

現在の市川高校は、プロジェクションマッピングなどを取り入れ、先生と生徒が共に何かをつくる学校になっている印象があります。国立大学を目指すアドバンスコースもあり、これからeスポーツにも力を入れていくようなので、自分らしく楽しい学校生活を送ることができると思います。もし自分が学生に戻れたとしたらまたここで学びたい、そう思える学校です。

02

山田 美咲 (49 回生)

たかはし内科・循環器内科 (看護師)



「勉強も部活動も遊びも  
全て全力で！」

私は普通科で市川高校へ入学しました。小さい頃から看護師になりたいという夢があり、1年生の進路面談の際に、叶わない前提で担任の先生に夢を打ち明けました。すると、先生は全力で背中を押してください、2年生から特進クラスへ移り勉強できる環境を整えてくださいました。その後は勉強に励み、看護師になるという夢を叶えることができました。

看護師になってからは、救命救急センターの集中治療部で約7年、救急診療部で約2年勤務しました。命に向きあう仕事は想像以上で大変で、素早い判断力や確実な技術が求められ、日々緊迫した状況の中で働きましたが、これほどやりがいのある仕事は他にないと思える程、私には天職でした。

現在は、2児の母としてクリニックで勤務し、患者様との関わりを大切に、また違うやりがいを感じながら日々を過ごしています。

あの時、背中を押してくれた先生がいなければ今の自分はないと、本当に感謝しています。

勉強ばかりの3年間ではなく、男女問わず多くの友達に恵まれ、もちろん遊びにも全力で取り組みました☆

しっかり目標を持ちながら、勉強も部活動も遊びも全て全力で、充実した最高に楽しい高校生活をぜひ、市川高校で♡

03



世界選手権  
2023福岡大会  
日本代表選手団  
に選出!

「学んだ向上心で  
挑戦し続ける！」

古畑 海生 (57 回生)

サトウ製薬 (現日本代表、水泳)

私は現在、仕事に励みながらオープンウォータースイミングという水泳競技に取り組んでいます。社会人になっても競技に挑戦し続けられるのは、市川高校で学んだ経験と周りの人の理解があつてこそです。

多くの学びがあつた高校3年間。寮生活では、共に生活する仲間への気づきを忘れず、協調性や感謝の気持ち、身の回りのことを自分でする自立心を育みました。学校生活は、個性豊かな先生方やクラスメイトに恵まれ充実していました。特に水泳部活動では、楽しいことも挫折も経験しました。失敗した時には、原因を調べたり先生方からアドバイスをもらったりして、試行錯誤しながら次へと進みました。そのなかで、やりがいを感じ、もっと速くなりたいという向上心が身につきました。

皆さんにも、市川高校での学びを大切にしてほしいと思います。ここで得た知識や経験は社会に出てからも役立ちます。皆さんが幸せで充実した人生を送られることを願っています。